

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
成人看護学方法論Ⅴ	4年次 前期	必修	講義	1単位（15時間）	木竜理恵子
授 業 概 要					
予後不良の経過をたどり終末期を迎える患者及び家族に対して、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛を緩和し、残された日々を有意義に過ごすための看護を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 終末期にある患者と家族の特徴を身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの側面から述べる。 2. 終末の経過をたどる患者及び家族に対して心身の苦痛を緩和する援助について述べる。 3. 終末期にある患者と家族を理解し、残された日々を有意義に送るための看護を述べる。 4. 高度医療やその継続が終末期患者の「生命倫理」に与える影響について述べる。 5. 対象の看護を通して生と死を考え、自分の考えを述べる。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-8	1. 終末期にある患者と家族の看護 1) 終末期とは 2) 終末期にある患者と家族の心理過程 3) 終末期にある患者の治療及び苦痛緩和の援助 4) 終末期にある患者及び患者を支える家族への援助 5) 人間にとって死とは 6) 終末期の看護について考える				外部講師
学 習 方 法					
講義・グループワーク形式で進める。限られた時間で多くの内容を行うので、学習内容に関連する既習の知識については自己学習、事前学習が必要である。教科書以外にも関連する文献や各種メディア等から最新の情報を得て幅広い視点で理解を深めていくことが望ましい。					
評 価 方 法					
[評価方法] レポートなどによる評価を行う。 評価の詳細は講義の初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
[教科書] 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 恒藤 暁 他 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [1] 成人看護学総論 小松浩子 他 医学書院 厚生指針 国民衛生の動向 厚生統計協会 他は講義開始前に提示する。					